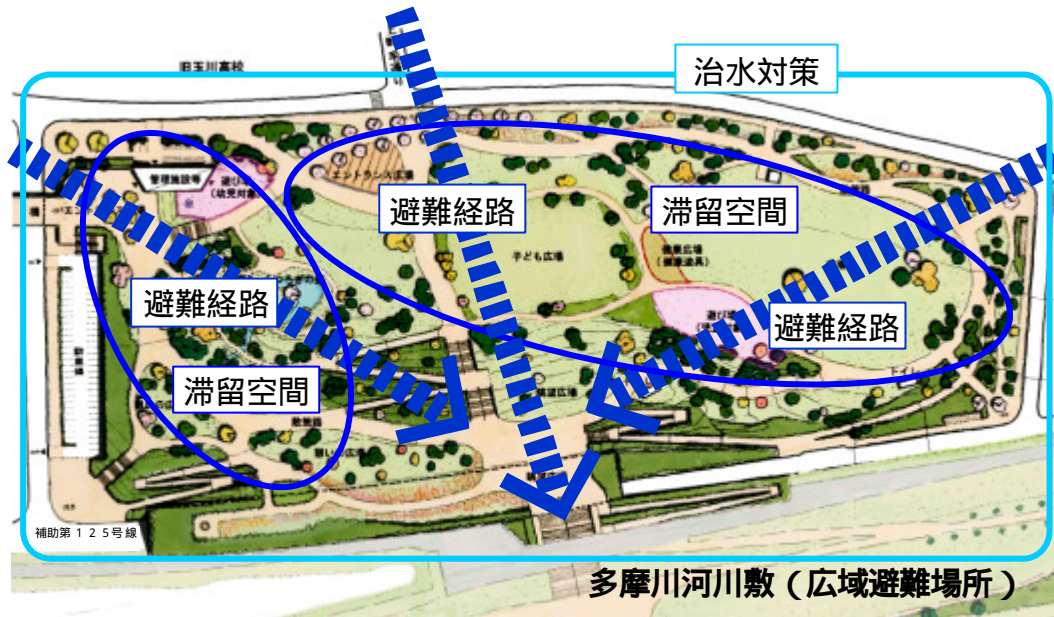


6 整備イメージ

(1) 安全・安心の公園づくり

公園計画の基本的な条件として、防災や防犯の視点から施設配置等を行います。防災の視点として、公園と広域避難場所である多摩川河川敷とを一体的に整備し、広域避難場所の防災機能を補完します。また、「世田谷区豪雨対策基本方針」に基づき、雨水流出抑制対策(対策量 1,000m³/ha以上)を行います。防犯の視点として、見通しの良さや夜間の明るさの確保等の施設計画を行います。



< 計画上の配慮及び導入施設(案) >

- ・ 発災後に避難滞留できる広場空間の整備
- ・ 防災施設(例:災害用マンホールトイレ、防災倉庫等)の配置
- ・ 雨水流出抑制施設(貯留施設又は浸透施設)の整備による治水対策
- ・ 日常的に大人の目が行き届く屋外環境(目線レベルの見通し確保等)の整備
- ・ 適切な照明配置による夜間照度の確保 等



災害用マンホールトイレ

災害時に仮設トイレを上部に設置できる
下水道直結型のマンホールのこと。

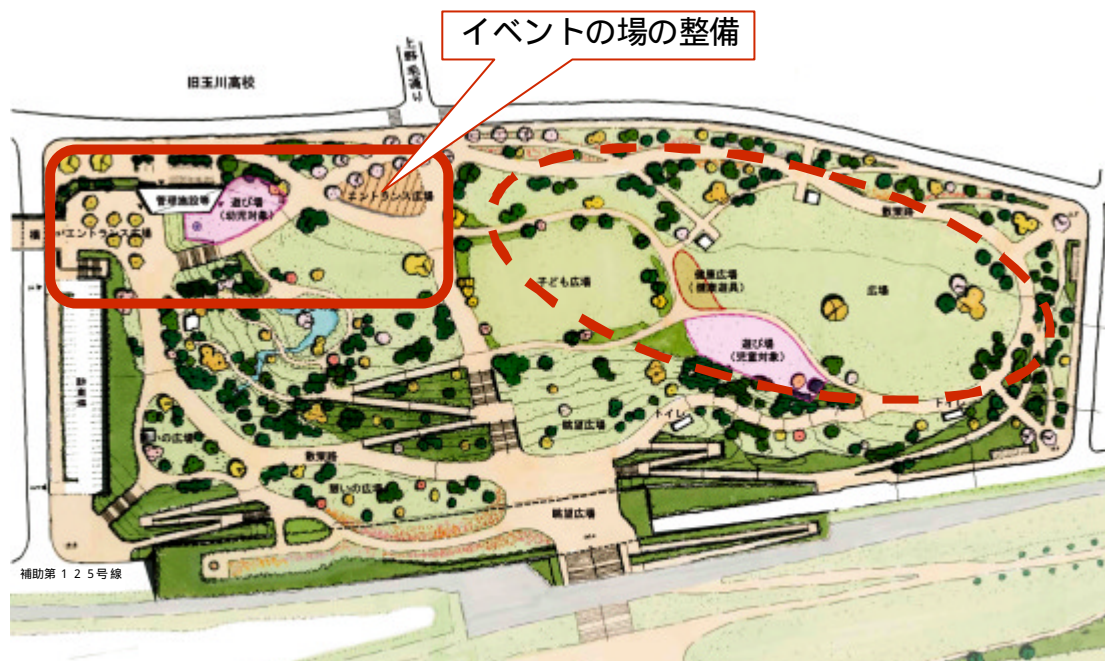


雨水貯留施設の例

写真は工事途中のもの。

(2) 人々が集い・ふれあえる交流の空間づくり

公園計画地周辺は、近年、マンション等の建設などにより、人口の増加が見込まれています。そのため、公園には、既存コミュニティと新しいコミュニティの交流にも利用できる施設整備を行います。



…主となる利用想定範囲
 …利用が想定される範囲

< 計画上の配慮及び導入施設〔案〕 >

- ・ イベントが開催できる場の整備
- ・ 地域住民の活動や地域のイベントをサポートできる活動拠点の整備
- ・ 公園管理等施設と連携した屋内と屋外で一体的に利用できる空間の整備
- ・ 公園利用者へのサービス施設の整備（だれでもトイレ、売店、授乳室等） 等



地域のイベントの場



施設と連携したにぎわいの場

(3) みどりとみずをつなぐネットワークづくり

国分寺崖線と多摩川は、世田谷区のみどりとみずの重要な骨格の一つです。これらのみどりとみず、そして、再開発事業区域のみどりとみずの公開空地や丸子川をつなぎ、ネットワーク化することにより、この公園が『みどりとみずの拠点』となるよう整備します。また、優れた景観特性を活かした眺望空間を整備します。



< 計画上の配慮及び導入施設（案） >

- ・「多摩川河川敷と川の流れ」、「国分寺崖線」、「再開発事業区域のみどりとみずの公開空地」及び「丸子川」を結ぶ『みどりとみずの拠点』の整備
- ・みどり豊かな広場空間の整備
- ・野鳥や昆虫、植物を通して四季を感じることが出来る植栽地、水辺空間の整備
- ・富士山や丹沢山系等の山並みを遠望する景観、国分寺崖線の連続するみどり、開放的な多摩川を眺望できる空間の整備 等



富士山、丹沢山系への遠景眺望



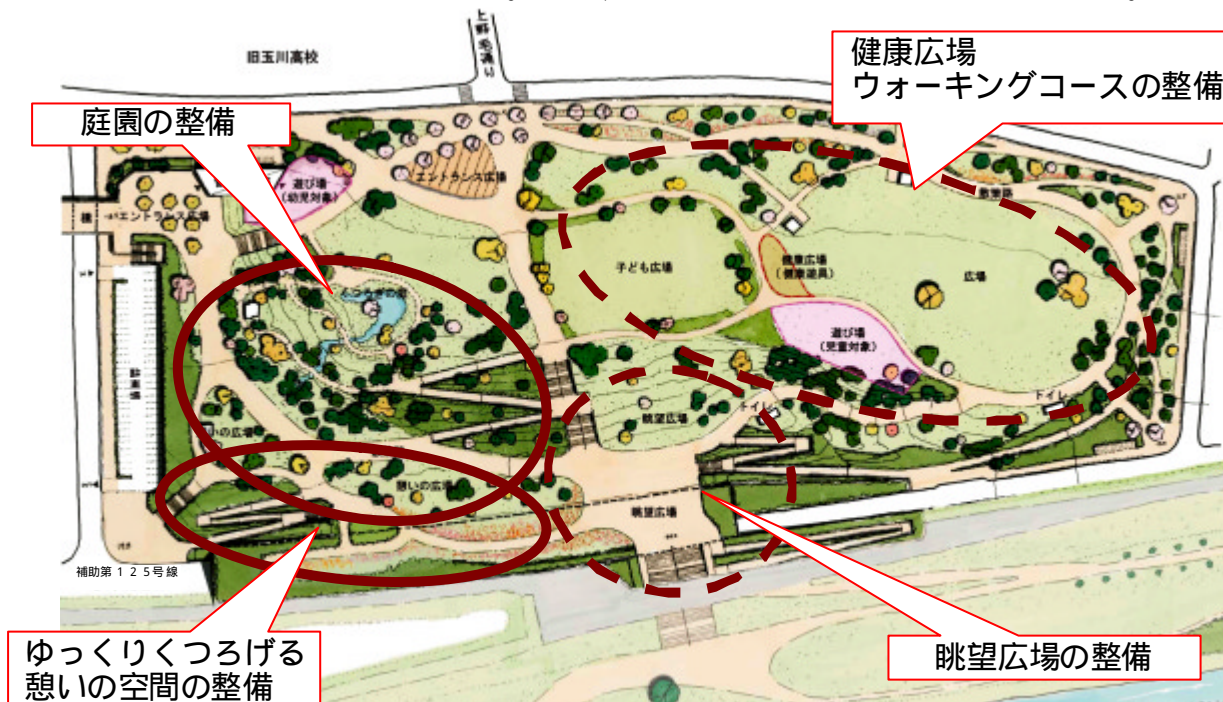
みどりの広場



四季を感じることが出来る植栽地

(4) 憩いと健康の空間づくり

「憩い」や「健康」の空間を整備することにより、子どもから高齢者までが楽しめる快適な公園づくりを目指します。また、高低差を活かした庭園を整備します。



 …主となる利用想定範囲
 …利用が想定される範囲

- < 計画上の配慮及び導入施設（案） >**
- ・ 高低差を活かした水の流れや鑑賞用の池、休憩施設がある庭園の整備
 - ・ 国分寺崖線や多摩川・富士山等を眺望できる木陰のある広場の整備
 - ・ 多摩川河川敷との一体的な利用を想定したジョギング、ウォーキング、体操などの日常的に健康づくりができる施設の整備 等



ゆっくりくつろげる庭園



健康遊具のある場



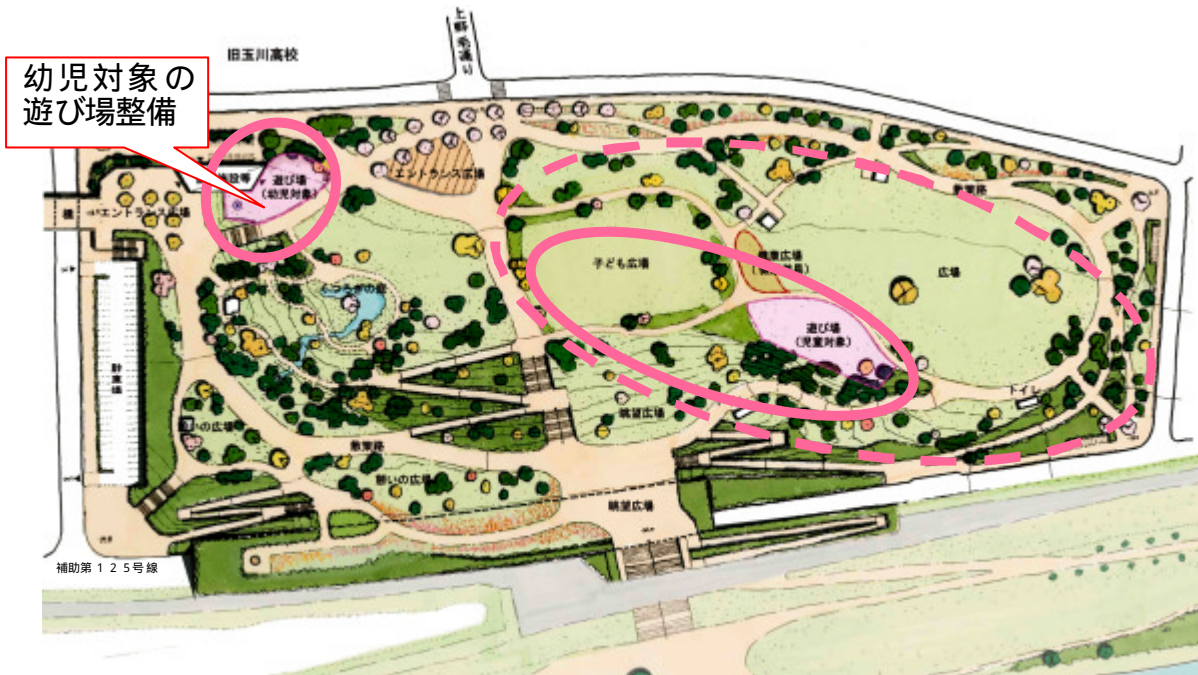
ジョギングや散歩ができる園路



木陰のある場

(5) 子どもがのびのびと遊べる空間づくり

幼児から児童まで、それぞれが安全に、そして安心して自然とふれあい、元気に遊ぶことのできる場を整備します。



- < 計画上の配慮及び導入施設（案） >
- ・ 子どもがのびのびと遊べる広場の整備
 - ・ 「遊具のある場」、「水遊びのできる場」、「自然とふれあえる場」、「ボール遊びができる場」など、多様な遊び場の整備
 - ・ 自然環境を考え、学ぶ場としての遊び場の整備
 - ・ 管理施設等の屋内空間と連携した“子どもの居場所”の整備 等



自然とふれあえる場



水遊びのできる場



遊具のある場

(6) その他の施設



公園管理等施設

公園の円滑な利用を維持し、増進するため、公園管理等施設を設置します。

公園管理等施設は、機能の集約化を図るため、公園の管理スペースのほか、ボランティア活動、雨天時の子どもの居場所、環境学習、イベントなど多目的に使用できるスペース、また、防災機能を補完するスペースを持つ複合的な施設とします。

< 計画上の配慮及び導入施設 >

- ・ 二子玉川駅方面及び上野毛駅方面エントランスからアプローチが可能な施設配置
- ・ 防災機能、地域イベント、子どもの居場所等を補完する複合的な施設の検討 等

駐車場

位 置：公園北西部 補助第329号線沿い

駐車台数：60台程度（身障者用駐車場2台）

駐輪場

公園の主な入口付近に自転車等の駐車を設置します。

トイレ

ユニバーサルデザインに配慮した構造とし、園内に3箇所以上のトイレを設けます。

7 概算工事費

総 額：17億5千万円（消費税込み）

8 今後の公園づくりに向けた視点

(1) 住民参加

- ・自由参加のワークショップ開催など、誰もが参加できる公園づくり
- ・地域のイベントにも活用できる公園づくり検討（イベント開催者との話し合い）
- ・子ども広場の整備形態や利用ルールづくり検討（地元活動団体との話し合い）
- ・地域の子どもが参加した公園づくり（遊び場の検討）
- ・地域住民による清掃活動や花づくりなど、公園の管理・運営に向けた検討

(2) 環境共生

- ・地域で育んだ樹木の活用（再開発事業区域、多摩川暫定堤防整備区域からの移植）
- ・富士山・丹沢山系、多摩川、国分寺崖線などの自然資産を活用した風景づくり
- ・太陽光発電・風力発電などの自然エネルギーの利用
- ・LED照明、保水性舗装の採用など、低エネルギー型施設の検討
- ・風、太陽光から利用者を守る高木などを利用した休憩場所の確保

(3) 施設づくり

- ・高齢者や障がい者など、すべての人が利用できるユニバーサルデザインの施設整備
- ・子どもから高齢者まで、すべての年代が楽しめる公園づくり
- ・多摩川河川敷との一体性を確保した公園づくり
- ・震災や水害を想定した防災機能の設定や防災施設の配置検討
- ・近隣住民や地域に配慮した施設づくり（雨水貯留施設、緩衝緑地の設置等）
- ・民間活力の導入によるサービス施設の提供

9 今後のスケジュール（予定）

平成22年度	ワークショップによる具体的な公園施設の検討		
平成23年度	ワークショップなどでの意見を踏まえ、区が設計図を作製		
平成24年度 以降	整備工事着手 (平成23年度～ 平成26年度末)	公園一部完成(平成24年度末)	公園全体完成(平成26年度末)



区制100周年(2032年)にみどり率33%の達成を目指します。

編集・発行

世田谷区 生活拠点整備担当部 二子玉川施設整備課

住所 〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

電話 03-5432-2513 FAX 03-5432-3107

ホームページ <http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00019688.html>